

高浜町元助役

# 関電子会社顧問30年以上

## 受発注双方で役職



森山栄治氏  
＝高浜町提供

市長は一日、記者団に「会社の信頼が完全に崩れている」と述べ、役員刷新を求める考えを示した。

「だったかどうかは今後検証する」と説明した。

関西電力の役員ら二十人が高浜町の元助役森山栄治氏（故人）から多額の金品を受け取っていた問題で、森山氏が関電の子会社「関電プラント」（大阪市）の顧問を三十年以上務めていたことが一日、分かった。

関電が今回の問題を、法令順守の観点から不祥事の扱いを議論する社内委員会で審議していなかったことも判明した。●面参照

森山氏は、原発関連工事を請け負う建設会社などの要職にも就いていた。発注側と受注側の双方で役職を担うなど親密な関係を築き、両者の仲を取り持っていた構図が改めて浮き彫りになった。

国民民主党の玉木雄一郎代表は一日、関電幹部を参考人として国会に招致する必要性に言及した。筆頭株主である大阪市の松井一郎

関電によると、森山氏は助役を退いた一九八七年から、今年三月に亡くなる直前の昨年十二月まで関電プラントの顧問を務めた。高浜町の情勢や住民対応について定期的に助言をし、報酬を受け取っていたとみられる。

森山氏は原発関連工事を担う高浜町の建設会社から工事受注に絡む手数料として、約三億円を受け取っていたことも分かっている。

関電プラントは原発の設備工事や定期点検を行う関電の100%子会社で、社長や会長は関電役員出身者が就いてきた。また、関電は今回の金品受領問題を、法令順守の観点から社内不祥事を議論する「コンプライアンス委員会」で審議していなかった。広報担当者は、立ち上げた社内調査委員会が類似の機能を果たしたとの認識を示した上で「適切